

2026

Bookstart



回
覧

ブックスタート便り

in さるふつ



猿払村鬼志別保育所子育て支援センター No.6

担当。。。小泉 奈央子

2月13日（金）ブックスタートの様子

乳幼児健診では、絵本の読み聞かせと共に「ブックスタート」による絵本のプレゼントを行っています！会場では子育てボランティアさんが絵本を読んで下さっています。今回は飯田さん・永井さんがお手伝いして下さいました♪



7、8カ月健診

1歳6カ月のプレゼント「フルーツバスケット」



3歳のプレゼント「お弁当」



3歳児健診



1歳6カ月健診



「こども・本・わたし」

乳幼児健診時のブックスタートの際に、7～8カ月健診を対象に配布させていただいております。

この冊子には、絵本への思いや自分が小さい頃の絵本との出会い、わが子と絵本など、絵本にまつわる様々なことが書かれております。子育てしているお父さんお母さんたちを中心に原稿の依頼をさせていただき、一つの冊子にまとめています。ブックスタートだよりの中でも掲載し、紹介をしていきます。

「子どもの成長と絵本」

鬼志別 渡邊 浩世



私は今年の12月から、鬼志別保育所の援助保育士として働き始めました。これまで子どもと携わる仕事に就いたことがなく、絵本の読み聞かせの大切さについて知る機会がほとんどありませんでした。そのような中、8月と9月に絵本に関する研修会に参加させていただき、絵本の読み聞かせによって子どもが「愛されている実感」を得ることができたり、「感性」を養うことができるなど、子どもの成長に良いことばかりだと知りました。もっと早く知っていれば!!と後悔しても遅く、自分の子どもたちが小さい頃は、たまに読んであげる程度でした。それでも、長女が高校進学で離れて暮らすことになり、持っていく荷物の中に自分の好きな絵本「そらまめくんのベッド」と「ばすくんのおむかえ」の2冊があり、それを見た時はなんだかとっても嬉しい気持ちになりました。娘はこの2冊の内容が特に好きとのことで子育てが落ち着いた小学校低学年のころよく読んであげていました。また研修会で絵本の読み方は上手でも下手でもどちらでもよいと教えていただきました。大事なことは、「身近な人の生の声がいい」ということと、「待ち読み」（子どもが心を動かすのを待ってあげる読み方）が大切とのことでした。これからは学んだ方法で、保育所の子どもたちにたくさん絵本を読んであげたいです。(R7執筆)

